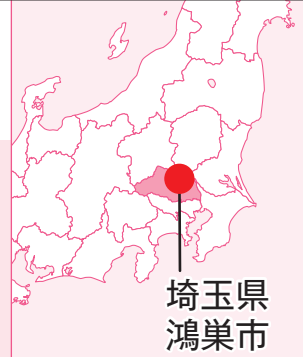


社会福祉法人恩賜財団済生会支部
埼玉県済生会鴻巣病院

セントラル



埼玉県済生会鴻巣病院

グループ唯一の精神科単科病院
として地域社会に貢献

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと1911年に設立。100年以上にわたる活動をふまえ、日本最大の社会福祉法人として「生活困窮者支援の積極的推進」「最新の医療で地域に貢献」「医療と福祉、切れ目なく」の3つの目標を掲げ、全職員約64,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開している。

本院は、済生会グループ唯一の精神科単科病院であり、「施薬救療」の精神に基づき、地域の人々の「心」を守れるよう、質の高い温かみのある保健・医療・福祉サービスを提供し、地域社会に貢献している。

老朽化した冷温水発生機を
高効率モジュールチラーに更新

さらに環境面においても、院内すべての照明設備をLEDに更新(予定)するなど、省エネルギー・省CO₂にも積極的に取り組んでおり、中でもエネルギーを多く消費する空調用熱源には、老朽化した冷温水発生機から最新式の高効率モジュールチラーに更新した。この高効率モジュールチラーは、シンプルな機器構成に加えて冷暖房効率が優れており、年間を通じて多くの冷暖房負荷が発生する本院において最適なシステムである。

また、高効率モジュールチラーの導入にあたり、環境省の「先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大

幅削減設備補助金(ASSET補助金)を活用。省エネルギーに対する豊富なノウハウを持つエネルギーサービス事業者(日本ファシリティ・ソリューション)と連携し、2021年度のCO₂削減目標に対して、100%を超えるCO₂削減量を実現している。

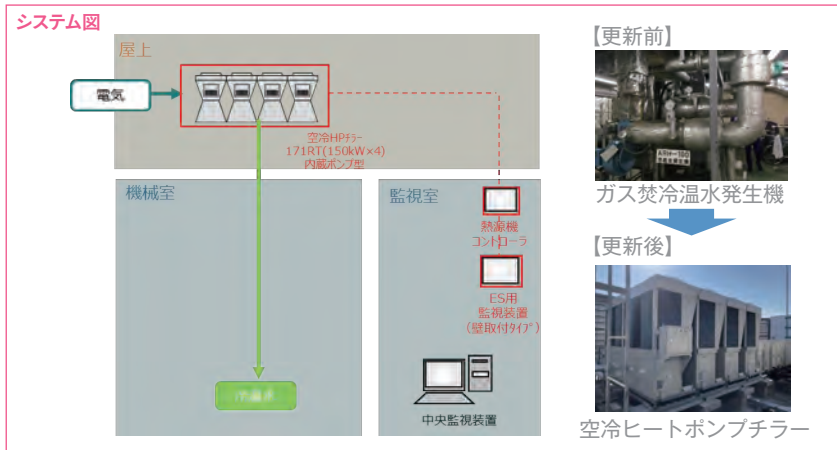
今後、本院だけでなく隣接する「介護老人保健施設こうのとりのり」においても、高効率モジュールチラーの導入を計画しており、引き続き環境面について積極的に取り組み、地域社会のみならず社会全体にも貢献していく。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	冷温水発生機 一次エネルギー消費量:25,101GJ
採用システム	空冷ヒートポンプチラー 一次エネルギー消費量:21,247GJ

従来システム
採用システム **-15%**

(諸元)過去のエネルギー使用実績(3年平均)と2021年度との建物全体のエネルギー使用実績の比較(ASSET報告用)
一次エネルギー換算値
※電気(全日) 9.76 MJ/kWh ※都市ガス 45MJ/Nm³
※A重油39.1 MJ/ℓ
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」



埼玉県済生会鴻巣病院

所在地:埼玉県鴻巣市八幡田849
エネルギー7専務:日本ファシリティ・ソリューション
設備施工:東アーク株式会社
延床面積:14,148.52㎡
竣工:2021年更新
URL:https://www.kounosu-hp.jp/

設備概要

空気熱源ヒートポンプチラー
150kW×4台【タイキン工業】

